

令和元年度学校関係者評価協議会報告書

学校法人 東洋学園
東洋学園高等専修学校
校長 松本 隆正

東洋学園高等専修学校は、下記日時に『学校関係者評価協議会』を開催いたしました。協議会では、協議・意見交流を行ない以下の意見と評価がありました事を報告いたします。今後はこの意見等を受け止め改善に努めてまいります。

1. 名 称 東洋学園高等専修学校 学校関係者評価協議会

2. 目 的

- ・学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を高める。
- ・学校、家庭、地域が共通理解を持ち、その連携協力により学校運営の改善に当たる。

3. 日 時 令和元年10月2日(水) 18:00～19:30

4. 場 所 東洋学園高等専修学校 102教室

5. 委員一覧

所 属	役 職 等
大阪市立小学校	校 長
寝屋川市立中学校	校 長
長尾谷高等学校	教 頭
関西福祉科学大学	社会福祉学部 准教授
学校法人 大阪国際学園	法人本部事務局 企画・広報室室長
森小路 京かい道商店会	会 長
東洋学園高等専修学校	同窓会会長

6. 議 案

1】協議『1』・意見交換

- ①学校概要について【今年度の本校の取り組みについて】
- ②学校概要について【生徒の就学状況について】
- ③協議

2】協議『2』・意見交換

- ①平成30年度学校教育自己診断アンケート調査結果について
- ②協議

7. 議 事

1】協議『1』

① <校長より>

- ・本校の専門教科の授業をビデオで紹介
(学年・コース別に紹介)
- ・家庭環境により、授業料の分納等も取り組んでいる(卒業時には完済できるよう)
- ・介護職員初任者研修課程を福祉コースは2年生で全員取得させる
- ・多くの検定を取得させている

② <教務部>

- ・平成31年度入学生に関して

1)入学生の地域

大阪市・・・23.5% 北河・・・66.2% その他・・・10.3%

2)学科・コース・男女比

学科	ファッションビジネス学科						福祉学科	
	ファッションコース		和裁コース		情報コース		福祉コース	
コース 別人数	14名		10名		25名		28名	
男女 別人数	男子 2名	女子 12名	男子 0名	女子 10名	男子 18名	女子 7名	男子 8名	女子 20名

- ・平成31年度全校生徒数 217名

- ・主な行事について

集団研修(1年)・修学旅行(3年)・スポーツ大会(記録会・球技大会)・ボウリング大会
宝塚観劇・東洋祭・校外学習(ユニバーサルスタジオ等)・思春期教室・防災教育
季節行事(七夕・ウインターデコレーション)・ECCグローバル体験など

- ・土曜学習 『東洋楽習』本校作製テキストで、基礎学習に取り組んでいる。

③ <生徒指導部>

- ・生徒はここ数年落ち着いている。
- ・新しい制服が定着してきている。
- ・今年度、現在の補導処分決定状況、6件。
- ・月間目標の取り組み実施

④ <進路指導部>

- ・平成30年度の結果
就職・・・34名 進学・・・36名 その他・・・16名
- ・平成31年度進路状況 10月1日現在
就職・・・22名内定 進学19名合格している
求人票の数は360社（2次募集を含む）

⑤ 意見交換

SNS・line 関連

- ・6年生対象でラインの使い方指導を行っている。
- ・発信によるトラブルがあり、中々難しい。
- ・大学ではスマホでの出欠を取る事が常にある。
- ・中学校の授業中、夜中のゲーム等で授業中に寝ている生徒がいる。
- ・中学校では使用料金、依存症の問題が起きている。
- ・大学では、独自の連絡メール送っているが、色々不便感じている。
- ・単位制学校では、SNSでレポート等の情報を共有する生徒がおり問題が発生している。その反面、配布物・連絡便・行事等情報など確認ができる便利さある。
- ・地域においてトラブルはなく、制服をカッコよく来て登校している。
- ・大学では、SNSで入学までに知り合いになっている学生たちが多い。

2】協議『2』意見交換

① 教頭から平成30年度学校教育自己診断アンケート調査結果の報告

- ・保護者アンケートでは、A・Bが殆どの項目で多いが、しいて言えば2・3の項目がC・Dが多い。
- ・生徒のアンケートでは、5の項目が他の項目に比べ、C・Dの割合が50%を超えている。授業中の環境作りを見直す必要がある。
- ・先生のアンケートでは36・42・71の項目が他の項目に比べC・Dの割合が高い。多くの研修・研究を入れ、学校全体のレベルを向上させる必要がある。

② 協議

- ・制服を綺麗に着こなしている
- ・昨年の結果同様、2年生に②③⑥項目内容で良くないと思っている結果が今年度も出ている。
- ・確かに2年生は別棟での学校生活で環境に慣れていない。常時接する機会の無い事もその結果に現れている。
- ・2年生の中たるみ学年の雰囲気やカラーがあるアンケートの「そう思う」が沢山肯定的に捉えている。原因を探っていくことで次に繋がると思う。
- ・中学校に入って頑張る子、心配になる子様々。東洋学園はやるべき事が明確、学ぶ事もしっかり現れている。進路や学校生活でのアンケート結果では肯定的回答となっている。このことから信

頼関係 15 ができている。21・22・23 に現れ向き合っている。落ち着いて学習出来ている環境の現れ。

- ・地域連携で小学校に来てもらっている家庭科補助授業では、児童たちが喜び、成果も上がっている。「格好いいお姉ちゃん」と受け取っている児童も多く、今後もお願いしたい。
- ・本人が環境に合ったかどうかだが・・・一概に数字だけで評価しない方が良いと思う。
- ・入学したら卒業まで、中途退学は出さない努力をしていく。
- ・学校側の教員同志の連携は取れている。生徒の関りが大切。
- ・教科 1 名の教科もあるので研究授業までいかない。教員の授業参観等で意見交換を行っている。

➤ 平成 30 年度学校関係者評価協議会委員の方のアンケート結果

● 生徒アンケート

- ・礼儀正しい
- ・進路等しっかりと目標を持っている。
- ・特色のある教育に取り組んでいる。(資格取得・検定試験の指導・進路指導等)
- ・アンケートに肯定的回答している。(生徒と先生の信頼関係ができている)
- ・21・22・23 学校としての組織力が高い。
- ・2 年生アンケート結果低い傾向にある。生徒の問題なのか環境に問題があるのか気になる。
- ・「落ち着いて学習できる環境である」この設問は、他の設問より否定的な割合が高い。毎年 2 年生で否定的回答が多く見られる。
- ・5・16 が低い設備の問題からくるものなのか他に要因があるのか考察が必要。
- ・『学校は楽しい』の項目の結果がよくなっていくことが望ましい。

● 保護者アンケート

- ・保護者が友人関係を理解していることが大切。
(保護者も学校生活について肯定的に回答している)
- ・A・B の回答を見ると全体の 8 割が学校の先生方と話ができており、学校生活に対して安心を持っている回答を得ている。
- ・保護者が生徒を通じて学校への評価は概ね高い数値になっていますが、生徒アンケートの 5 の設問に関して保護者 3 との比較で否定的意見の数値が 20 ポイント近く離れています。この差を三者面談等で埋めるよう工夫が必要かと思う。
- ・2・3 が低いので保護者の関心度が高い項目であろうから、今後大きな課題である。
- ・11 が低いのは、生徒アンケートの結果と関連している。

● 教職員アンケート

- ・地域に協力的で喜んでいる。
- ・基礎学習に力を入れ、基礎学力の定着に力を入れている。
- ・個人としての動きには取り組めてないように見える。学校の方針などしっかり認識して動かれていることがわかる。
- ・人権学習等につながる学習がなされていないのが現状となっている。
- ・研修や研究の情報を共有する機会が確保されていないとの意見も多く、少人数でも構わないの

で、教員間で情報共有する時間や機会を設けるべきではないか。

- ・ 12・17 が低いので、問題解決型の授業を模索していく必要があり、それに伴って評価も変えていく必要がある。
- ・ 32 が低いボランティア活動をさらに増やす必要がある。
- ・ 35・36・38 が低いので、人権問題に関することを指導する必要がある。
- ・ 42・43 が低いのは、教員のみなさんがご苦労されて、決して現状に満足されていないと思われる結果と思われる。

● その他

- ・ 地域の学校に貢献できることは有意義である。
- ・ 多忙な業務の中、一人ひとりの生徒にしっかり向きあっている様子は伺える。
- ・ 円グラフを使用しており、数値が見やすく工夫されているが、可能であれば学年ごとの資料も可視化することで、時系列の数値の流れも把握でき、分析する手間が省けるかと思う。
- ・ 質問項目が重複しているものが多くあり、全体的な傾向が捉えにくくなるのではと思う。特に教員の項目は多すぎるように思う。精査して行く方が良い。
- ・ 全体として生徒たちは先生方の熱心な指導に守られ、頑張っている姿がみてとれる。これからも生徒のために気を緩めることなく、日々の教育活動にしっかり励んでいただきたい。

8. まとめ

校長より

学校教育自己評価診断アンケートについて、前年度協議会の指摘を受けた内容について、改善を図ったが、再度項目等検討していきたい。

そして、東洋学園の新たな歴史を刻むためにも、今回の指摘を改善して、生徒・保護者・地域の皆さまから理解され応援していただける学園づくりに努めてまいります。